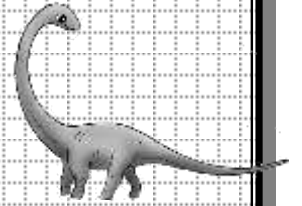


2012年7月

地質 — No. 5

けんぱくものしりシート

こ は く 琥 珀



ハクちゃん

こ は く
琥珀っていうのね！

なん か せき
何の化石かな？



ケンくん

ぬの
布でこすると静電気をおびます。

どうへん
銅片できずつきます。

つよ し がいせん
強い紫外線を
あてると青く
ひか
光ります。

かる こ えん
軽くて濃い塩
すい う
水に浮かびま
す。

ひ も かお
火に燃え、香り
はな
を放ちます。

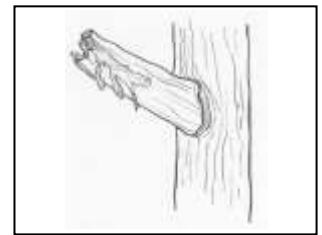
いろ き ちゃ あか
色は、黄、茶、赤、
しろ あお みどり
白、青、緑などい
ろいろあります。

さんしゅつち くじしわの
《産出地》 久慈市和野
こうきはくあき くじそうぐんたまがわそう
後期白亜紀 久慈層群玉川層



かいせつていん
解説員

ケンくん、ハクちゃんこんにちは。琥珀は、樹木か
らにじみ出て固まった樹脂が、何千万年もの長い間、
つち う じゅし か せき
土に埋もれてできた樹脂の化石です。



どこで見つかったの？

この琥珀は、久慈市で見つかりました。久慈地方に
は、恐竜が生きていた時代、中生代の後期白亜紀
の地層（約8500万年～9000万年前）があり、堆積岩の
中からたくさんの琥珀がとれます。

大きなかたまりや質のよい琥珀がとれ、古くから掘
り出されていきました。埋まっている量も多く、久慈
地方は、日本で最大の琥珀の産地です。

くじし
久慈市

もりおか し
盛岡市



どんな木が琥珀のもとになっているの？



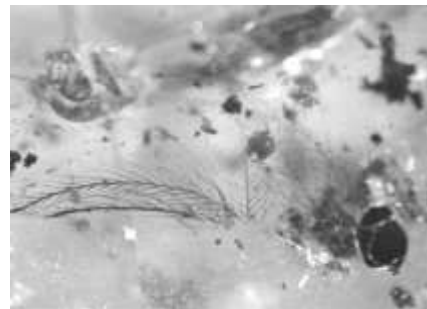
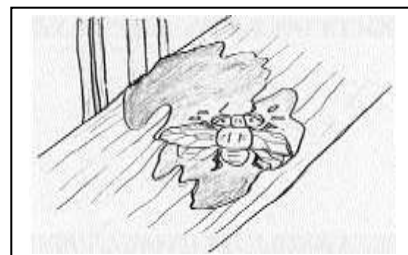
樹脂という“松ヤニ”を思いうかべるでしょう。でも琥珀のもとになった木は、針葉樹から広葉樹までさまざまあって、久慈地方の琥珀は、スギの仲間の針葉樹がもとになっています。当時は今よりも暖かく、久慈地方には緑豊かな森が広がっていました。



そういえば、中に虫が入っていたりするのは琥珀？

そうです。ネバネバドロドロした樹脂は、流れ落ちる時、まわりの生き物などを取りこんで、そのまま化石になることがあります。

久慈地方産の琥珀からは、アリやハチ、ハエ、ガなどの昆虫を含んだ“虫入り琥珀”がたくさん見つかっています。また、世界で初めて鳥の羽毛も発見されています。これから新発見があるかもしれません。



琥珀の中の鳥の羽毛



すごい！



それに、琥珀がでる地層からは、海トカゲ、モササウルスの仲間の歯の化石や、岩手県で2例目となる恐竜の化石なども見つかっています。

久慈市には、「久慈琥珀博物館」があり、発掘体験などできますので、一度訪ねてみてはいかがでしょうか。



参考にした本

『北上山地の恐竜・アンモナイト』岩手県立博物館 1986年
『岩手県内化石めぐり』岩手県立博物館 1984年 他

来月（8月）の
けんぱくものしりシートは
考古-5だよ！
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>